

ーJAAM OHCA レジストリ プロトコール1ー

『血液ガスデータを中心とした研究プロトコール』説明会開催のご案内

2015年5月20日

大阪府立急性期・総合医療センター

高度救命救急センター

木口 雄之

京都大学 健康科学センター

石見 拓

平素より大変お世話になっております。JAAM OHCA レジストリのプロトコール1 責任者の大阪府立急性期・総合医療センター 高度救命救急センターの木口と申します。

プロトコール1へのご参加およびご協力、まことに感謝いたします。JAAM OHCA レジストリでの登録開始以降、多数の施設からの参加表明をいただいておりますが、研究内容、方法等につき理解を深めていただくとともに、研究遂行上の課題について共有するために、日本救急医学会ならびに日本臨床救急医学会総会・学術集会のタイミングに合わせ、本プロトコールの概要について直接説明させていただく機会を設けています。

このたび、富山で開催予定の第18回 日本臨床救急医学会総会・学術集会期間中に下記の通り、本プロトコールの概要および参加条件等についての説明会を開催させていただくこととなりました。本プロトコールに関心のある皆様はご参加のほど、よろしくお願いいたします。

ーJAAM OHCA レジストリ プロトコール1ー

『血液ガスデータを中心とした研究プロトコール』説明会

日時：平成27年6月5日（金）14：00-15：00

場所：富山県民会館 601号室

<http://www.redmo.jp/18JSEM/access/index.html>

なお、現段階における本研究の概要および参加条件はホームページ上（<http://www.jaamohca-web.com/>）でも掲載させていただいてあるように以下となっております。ご確認の程よろしくお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、遠慮なく私木口までお問い合わせください。

プロトコール1：血液ガスデータを中心とした研究プロトコール 概要

■主解析テーマ：心拍再開後の動脈血高酸素分圧が脳機能予後に与える影響に関する検討
■蘇生後の hyperoxia（過剰な酸素化）が神経学的転帰に影響を及ぼすかどうかにつき解析を行います。その他に、病院到着後の除細動実施時刻と回数、気管挿管実施時刻、アドレナリン総投与量、生化学データ、治療目的体温管理の合併症、90日CPC（小児ではPCPC）等を含みます。

■ご存じのとおり、2010年のJAMAに報告された蘇生後の患者6326例を対象にした報告で、蘇生後の高酸素濃度（300mmHg以上）の群の生存率が60mmHg未満の低酸素群および60mmHg-300mmHgの群に比べて悪かったという報告を踏まえて、最近では蘇生後の高酸素濃度は控えるべきである、とされています。しかし、本プロトコールでは、現場の臨床家が抱いているように、ワンポイントだけの高酸素濃度そのものが蘇生科学において生存率に悪影響を及ぼすのではなく、病院到着からその後急性期の血液ガスデータの推移などの動態が何らかの影響を与えているのではないかと、というリサーチクエスチョンに少しでも迫れるような臨床データを、本邦から発信したいと考えています。そこで本プロトコールにおいては蘇生後からの高酸素濃度の程度および高酸素濃度に暴露された時間と生存率およびさらには脳機能予後との関係をより詳細に解析することを目的としております。是非ご協力いただければと考えます。

【参加施設の要件】

対象症例（救急隊員により施設に搬送された全院外心停止例）をすべて登録すること。
（※症例数は規定しない）

【データ収集期間】

1年（症例の集積状況で延長の可能性あり）

【オーサーシップ】

Authorとなる権利を有する者：大阪CRITICAL参加施設全員。

（追加参加施設についても、大阪CRITICAL参加施設と同等の権利を有する）

※ただし、投稿先論文の方針、ルールにもよるので、必ずAuthorとして掲載できるかは保証できない。

Authorとして掲載できなかった場合は、Contributor/collaboratorとして記載。

最低でもAcknowledgeに記載を予定。

構想、データ提供、解析、執筆、レビュー等、貢献度全体でプロトコールオーナー

（大阪府立急性期総合医療センター木口医師）及びCRITICAL代表（京都大学石見医師）が

最終的に判断

【プロトコールに関わるデータの解析について】

主目的の研究については、木口医師がファーストオーサーとして解析を行う。

プロトコール内の項目を用いた2つ目以降の解析提案については、CRITICAL 委員、データ提供者は等しく権利を有する。

【お問い合わせ先】

大阪府立急性期・総合医療センター

高度救命救急センター

木口 雄之

TEL) 06-6692-1201

Mail) take_yuki888@ybb.ne.jp